

## 安心して手術をお受けください



渡邊部長

皆さん、こんにちは。今日は社会保険中央総合病院の麻酔科を紹介します。

病院の外来フロアを歩き回っても麻酔科は見つかりません。麻酔科は手術室

の中にあるからです。だから癌や骨折などが原因で入院され、手術を受ける段になって初めて麻酔科を知ることになります。

### 麻酔科の仕事

麻酔科が行っていることは、手術を受ける患者さんに全身麻酔や局所麻酔をかけ、手術を受けやすい状態にすることです。麻酔方法は、患者さんの全身状態、手術する部位や手術時間などを考慮して決めます。また手術中は、心電図、呼吸、体温なども注意深く管理しています。だから安全に手術が行われるためには、麻酔科が必要なのです。

現在当院の麻酔科には、常勤の麻酔科医が5



手術中にガス麻酔の量や心電図の管理をする麻酔科医

人おり、この規模の市中病院としては、大変恵まれています。麻酔科医の不足で、常勤の医師がいな

### 渡邊 昭夫（麻酔科部長）

い病院もたくさんあるからです。しかし、それでも毎日の手術を行うには人手が足



手術も大詰め

りず、他院からの応援を頼んでいます。常勤の麻酔科医がいると、いつでも緊急手術を行えますし、十分な時間を手術にかけられます。このことは患者さんにとってたいへん大きな利点かと思えます。

### 管理された麻酔は決して怖くはない

麻酔は怖いと思われてる方が、大勢おられます。確かに絶対安心とは言えません。しかし麻酔が原因で不幸な事が起こるのは非常にまれです。それは機材、薬剤、マンパワーがそろった一番安全な手術室で麻酔は行われているからです。

安心して手術や麻酔を受けてください。手術後あなたはきつとお腹の傷を見せながら、こう言うでしょう。

『寝てる間に手術が終わったよ。傷も全然痛く無かった。』

当院は、腕の良い麻酔科医と優しい看護師が手術室でお待ちしております。



麻酔科スタッフ